



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日

上場会社名 株式会社 オートバックスセブン 上場取引所 東
コード番号 9832 URL <https://www.autobacs.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 堀井 勇吾
問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 大木 勝仁 TEL 03-6219-8787
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	64,223	18.9	2,686	154.1	3,049	124.9	2,000	173.9
2025年3月期第1四半期	54,011	△6.3	1,057	△48.0	1,356	△33.9	730	△45.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,001百万円 (55.1%) 2025年3月期第1四半期 1,290百万円 (△11.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	25.49	—
2025年3月期第1四半期	9.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	223,232	131,798	58.9	1,674.30
2025年3月期	228,170	131,963	57.8	1,679.29

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 131,413百万円 2025年3月期 131,808百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	276,000	10.6	13,500	11.3	13,500	7.9	8,200	0.8	104.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	82,050,105株	2025年3月期	82,050,105株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	3,561,549株	2025年3月期	3,559,799株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	78,489,136株	2025年3月期1Q	77,951,720株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の持ち直しやインバウンド需要の回復等を背景に、景気は緩やかな回復基調を維持しております。他方、持続的な物価上昇による個人消費の減速懸念に加え、米国の通商政策など国際的な不確実要因により、依然として先行きには不透明感が残る状況が続いております。

国内の自動車関連業界の動向といたしましては、出荷停止していた一部自動車メーカーの出荷再開に伴い、新車販売台数は前年を上回る水準に回復いたしました。中古車市場においては、輸出向けの中古車需要が底堅く、中古車登録台数は前年と同水準で推移いたしました。

このような環境下において、当社グループは、お客様にとっての「モビリティライフのインフラ」をグローバルで目指し、2024中期経営計画「Accelerating Towards Excellence」に基づき、「タッチポイントの創出」「商品・ソリューションの開発と供給」「新たな事業ドメインの設定」を戦略骨子とした各種施策を推進しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高642億23百万円(前年同期比18.9%増加)、売上総利益229億71百万円(同24.3%増加)、販売費及び一般管理費202億85百万円(同16.4%増加)、営業利益26億86百万円(同154.1%増加)、経常利益30億49百万円(同124.9%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益20億円(同173.9%増加)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、前中間連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

[オートバックス事業]

オートバックス事業の売上高は465億8百万円(前年同期比6.3%増加)、セグメント利益は46億28百万円(同32.3%増加)となりました。

国内においては、国内オートバックスチェーン(フランチャイズ加盟法人店舗を含む)の全業態の売上高は、前年同期比で既存店が3.8%の増加、全店が5.0%の増加となりました。

国内オートバックスチェーンでは、タイヤは値上げによる反動減が懸念されたものの、戦略的な販売促進が奏功し、堅調に推移いたしました。また、車両メンテナンス需要を背景に、オイル・バッテリーなどのメンテナンス関連商品が伸長し、これらの商品に伴うサービス工賃も伸長いたしました。

車検・整備については、車検対象車両台数の増加を背景に好調に推移し、車検実施台数は前年同期比8.9%増加の約16万6千台となりました。

車販売については、国内オートバックスチェーンにおける新車・中古車の小売販売台数の伸長に伴い、総販売台数は前年同期比1.6%増加の約7千5百台となりました。一方で、中古車オークションにおける出品台数の増加に伴い、中古車単価が下落傾向となったことを背景に総販売金額は前年並みの84億52百万円となりました。

国内における出退店は、新規出店が15店舗、退店が1店舗あり、2025年3月末の1,020店舗(内、併設店およびインショップは417店舗)から2025年6月末は1,034店舗(内、併設店およびインショップは430店舗)となりました。

海外においては、フランスは、商品ラインアップの拡充等を行ったものの、不安定な政治情勢や景気低迷の影響により、売上が減少いたしました。シンガポールは、メンテナンス需要獲得でピットサービスが堅調となりました。

海外における出退店はなく、2025年6月末は148店舗となりました。

[コンシューマ事業]

コンシューマ事業においては、2024年8月に自社ローン型中古車販売店を展開するオトロンカーズ株式会社、2024年10月にHonda正規ディーラーを運営する株式会社東葛ホールディングス、2025年1月にタイヤ専門店を展開する株式会社ビーラインを連結子会社化したことが大きく寄与し、売上は大幅に伸長、利益が改善いたしました。

この結果、コンシューマ事業における売上高は121億93百万円(前年同期比148.5%増加)、セグメント損失は43百万円(前年同期は2億85百万円のセグメント損失)となりました。

ディーラーにおいては、2025年5月に、栃木県小山市にアウディ正規ディーラー「Audi小山」をオープンいたしました。

オンラインストアにおいては、ECモールにおける販売促進施策が奏功し、売上が増加いたしました。

また、2025年4月に、クルマの車検・整備・メンテナンスに特化した業態「AUTO IN車検・タイヤセンター射水店」をオープンいたしました。

コンシューマ事業における出退店は、新規出店が2店舗あり、2025年3月末の124店舗から2025年6月末は126店舗となりました。

〔ホールセール事業〕

ホールセール事業における売上高は80億46百万円（前年同期比5.5%増加）、セグメント利益は1億39百万円（前年同期は1億69百万円のセグメント損失）となりました。

国内においては、車両のメンテナンス需要の増加を背景に、エンジンオイル等の卸売を行う子会社が堅調に推移いたしました。また、セブン-イレブンへの卸売拡大により売上が伸長いたしました。

海外においては、中国は、専売タイヤの取引開始に伴い、日本国内への輸出が拡大し売上が増加いたしました。オーストラリアにおいては、新商品の販売等により堅調に推移いたしましたが、為替の影響により売上が減少いたしました。

〔拡張事業〕

拡張事業における売上高は27億6百万円（前年同期比22.9%増加）、セグメント利益は2億97百万円（同77.4%増加）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

財政状態は、次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ49億37百万円減少し、2,232億32百万円となりました。主に商品が増加した一方、未収入金が減少したことなどによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ47億72百万円減少し、914億34百万円となりました。主に支払手形及び買掛金、未払金および未払法人税等が減少したことなどによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億65百万円減少し、1,317億98百万円となりました。主に親会社株主に帰属する四半期純利益による増加があった一方、利益剰余金の配当による減少などによるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,292	31,125
受取手形及び売掛金	29,602	29,838
商品	27,649	28,869
未収入金	27,902	19,839
その他	10,646	11,013
貸倒引当金	△64	△88
流動資産合計	127,028	120,597
固定資産		
有形固定資産		
土地	29,421	29,449
その他(純額)	27,336	28,501
有形固定資産合計	56,757	57,950
無形固定資産		
のれん	8,694	8,725
その他	8,676	8,522
無形固定資産合計	17,370	17,247
投資その他の資産		
差入保証金	11,998	11,976
その他	15,044	15,487
貸倒引当金	△28	△27
投資その他の資産合計	27,014	27,436
固定資産合計	101,142	102,634
資産合計	228,170	223,232
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,157	15,074
短期借入金	8,514	8,188
未払金	18,015	15,176
未払法人税等	2,781	1,336
その他	12,963	14,033
流動負債合計	58,432	53,809
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	26,263	26,169
引当金	7	7
退職給付に係る負債	266	282
資産除去債務	3,398	3,431
その他	7,638	7,533
固定負債合計	37,774	37,624
負債合計	96,206	91,434

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,998	33,998
資本剰余金	34,138	34,138
利益剰余金	66,246	65,892
自己株式	△6,060	△6,060
株主資本合計	128,323	127,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,736	1,691
為替換算調整勘定	1,748	1,752
その他の包括利益累計額合計	3,484	3,443
非支配株主持分	155	385
純資産合計	131,963	131,798
負債純資産合計	228,170	223,232

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	54,011	64,223
売上原価	35,523	41,251
売上総利益	18,487	22,971
販売費及び一般管理費	17,430	20,285
営業利益	1,057	2,686
営業外収益		
受取利息	25	23
受取配当金	66	65
持分法による投資利益	126	178
情報機器賃貸料	199	94
その他	366	310
営業外収益合計	784	673
営業外費用		
支払利息	13	96
情報機器賃貸費用	247	110
固定資産除却損	15	6
その他	209	97
営業外費用合計	485	310
経常利益	1,356	3,049
税金等調整前四半期純利益	1,356	3,049
法人税、住民税及び事業税	199	1,088
法人税等調整額	423	△79
法人税等合計	622	1,009
四半期純利益	733	2,040
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	730	2,000
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	39
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	228	△42
為替換算調整勘定	263	19
持分法適用会社に対する持分相当額	65	△16
その他の包括利益合計	557	△39
四半期包括利益	1,290	2,001
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,287	1,959
非支配株主に係る四半期包括利益	3	41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	オートバ ックス事業	コンシュー マ事業	ホールセー ル事業	拡張事業	合計		
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	42,611	4,884	5,593	333	53,423	—	53,423
その他の収益	—	—	—	587	587	—	587
外部顧客への売上高	42,611	4,884	5,593	921	54,011	—	54,011
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,154	23	2,029	1,280	4,488	△4,488	—
計	43,766	4,907	7,623	2,201	58,499	△4,488	54,011
セグメント利益又は 損失(△)	3,497	△285	△169	167	3,210	△2,153	1,057

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2,153百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主にコーポレート的一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載すべき重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	オートバ ックス事業	コンシュー マ事業	ホールセー ル事業	拡張事業	合計		
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	45,195	12,126	5,622	708	63,652	—	63,652
その他の収益	—	—	—	570	570	—	570
外部顧客への売上高	45,195	12,126	5,622	1,279	64,223	—	64,223
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,312	67	2,423	1,427	5,231	△5,231	—
計	46,508	12,193	8,046	2,706	69,454	△5,231	64,223
セグメント利益又は 損失 (△)	4,628	△43	139	297	5,021	△2,335	2,686

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2,335百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主にコーポレートの一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2024年5月に発表した2024中期経営計画「Accelerating Towards Excellence」において、お客様にとっての「モビリティライフのインフラ」をグローバルで目指すことを新たな方向性に掲げ、小売りと卸売りの二軸に経営資源を集中し強化する体制への変更を進めております。この方向性に沿った取り組みを速やかに開始し戦略実行のスピードアップを図るために、前中間連結会計期間より、従来、「国内オートボックス事業」「海外事業」「ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業」および「その他の事業」に区分したセグメントを、小売りと卸売りを軸とした報告セグメントに変更いたしました。

国内外のオートボックス店舗の小売りやオートボックス店舗への卸売りをを行う「オートボックス事業」、オートボックス事業以外の小売りとして、カー用品のネット販売や新車および中古車の買取・販売を行う「コンシューマ事業」、オートボックス事業以外の卸売りとして、ライフスタイルブランドをはじめとするプライベートブランド等を卸売りする「ホールセール事業」およびファイナンス、物件・立地開発、EVソリューション等の周辺事業を行う「拡張事業」の4区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,335百万円	1,511百万円
のれんの償却額	93	248